

「子ども部会」中間報告について

1 報告事項

(1) 第4回子ども部会（平成29年7月14日開催）

ア 第29回刈谷市障害者自立支援協議会における子ども部会関係の報告について
刈谷市障害者自立支援協議会（平成29年5月15日開催）にて報告した子ども部会での昨年度の検討事項と結果及び今年度の検討事項を確認した。

イ 福祉と教育の連携体制について

福祉関係機関と教育関係機関は連携して支援計画書の情報交換をしたいと考えており、以下の方法で一貫した支援を行うことを確認した。

(ア) 福祉サービス事業所から保護者を介して福祉の個別支援計画書を他機関へ渡してもらう。

(イ) 学校から保護者を介して学校の教育支援計画書を他機関へ渡してもらう。

(ウ) わたし手帳を保護者から各関係機関に見せて子どもの特性を共有してもらう。

ウ 子育て発達支援セミナーの開催について

障害児を育ててきた先輩保護者による講演、教育現場での支援方法及び福祉サービスの活用方法など障害を持つ子どもの成長や発達に不安がある保護者への支援に関する内容のセミナーを開催することとした。

開催日時や講演内容、広報手段などセミナーの内容について検討した。

(ア) セミナーの名前によって対象者や目的がはっきりするので、セミナーのタイトルを検討する必要がある。

(イ) 対象者は学童期の子どもであるが、多くの方が参加、見学しやすいセミナーになると良い。

(ウ) 先輩保護者による講演の内容は、地域の支援機関や福祉サービスをうまく活用してもらうというセミナーの目的を踏まえ、子育てを振り返って、地域の支援機関等に支えられた経験などを話してもらうのが良い。

(エ) 開催日時については、平成30年1月25日（木）9時半予定で開催していく。

エ 障害者差別解消法に関する課題の有無について
特になし。

2 総括及び検討課題

(1) 福祉と教育の連携体制について

各関係機関が作成する支援計画書の共有方法について確認ができたため、それを踏まえて各関係機関の連携を強化し、一貫した支援を行っていくとともに保護者に個人情報の共有について理解を求める。

(2) 子育て発達支援セミナーの開催について

セミナーの開催に向けて、全体的な構成内容や広報の方法などを検討する。また、参加見込み者数の把握は難しいが、より多くの保護者や関係機関に参加していただけるよう広報等を図る。